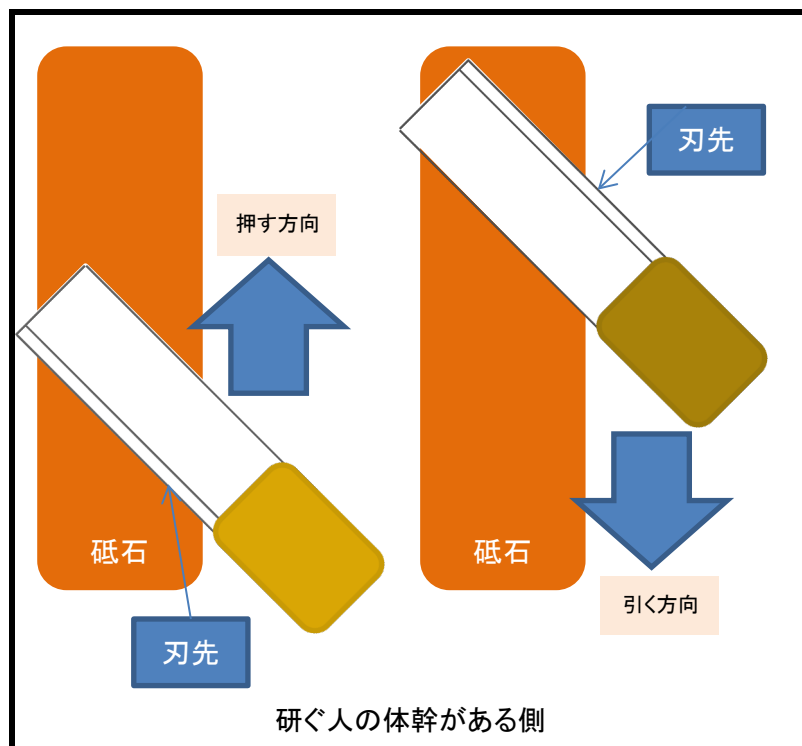
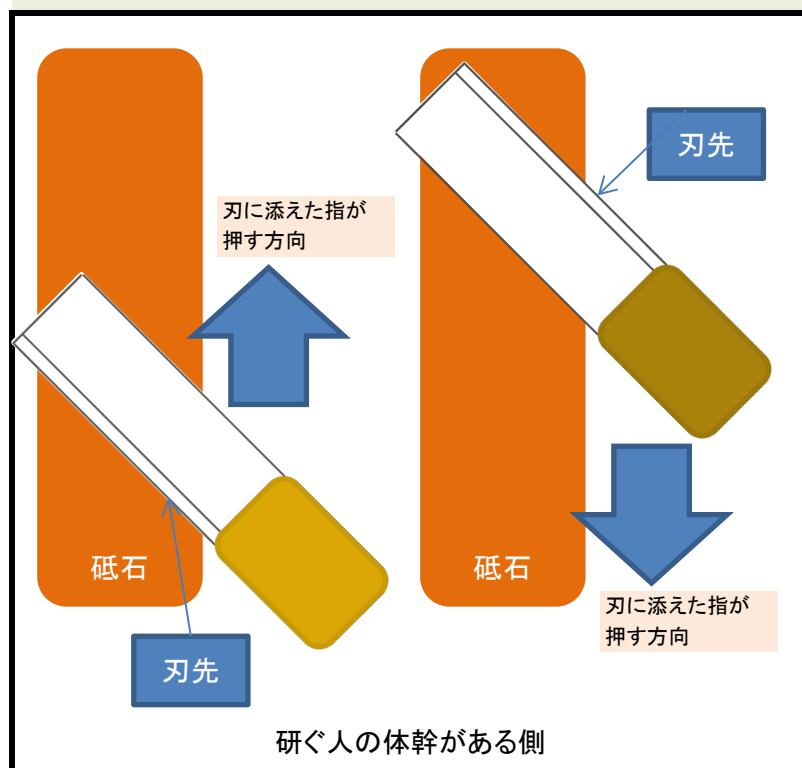




P.6のイラスト

『押す方向』・『引く方向』は、研いでいる人の体幹を基準に、体幹から離れる方を『押す方向』、近づく方を『引く方向』と表現しました。

別の表現をしてみます。



刃先が手前(体幹側)を向いているときも、向こうを向いているときも、右手で柄を持ち、左手の指を刃に添えてます。右手で研ぐ角度を固定します。

その状態で、研ぐために、左手の指が刃を押します。刃を押すときは、左手の指は刃に接していますが、もし、柄を握っている右手を動かさないなら、刃から左手の指を引いたら、左手の指は刃から離れます。

これは、体幹を基準に表現しているのではなく
刃に添えた手の指を基準に表現しています。

左手の指が刃を『押すときに研ぎ、引くときには研がない』



私の文章力の問題ではありますが、納得できないという方は、下記をご参照ください。

スカウティング・フォア・ボーイズ平成26年8月5日第29版

第三章キャンプ生活・キャンプの方法→火の起こし方→火のつけ方P. 157

『 乾いた木を削って作った たきつけ棒(Fire stick) の 挿絵 』

いやいや、挿絵をみたけど・・・その場合は、棒を削って“たきつけ棒”を作ってくださいな♪

※ ケガしても責任は負いません。悪しからず
(まじめな話、特殊な形状をした刃物ならまだしも、ナイフのような刃物で削っただけでは、挿絵のような状態にはなりません。)